

2004年のヒマラヤ登山

尾形好雄（日本ヒマラヤ協会常務理事）

ヒマラヤ登山の動向

2004年はK2(8,611m)とチョー・オユー(8,201m)の初登頂50周年の記念すべき年で、パキスタン、ネパールでそれぞれ記念行事が行われた。特にパキスタンではそれを記念して登山料を半額にしたこともあって、過去最高の20隊、百数十人がK2に入山し、久々の登頂ラッシュをみせた。過去2年間登頂が無かったため、記念の年に相応しい成果となった。それでもK2の登頂者は50年経って未だ約250人である。世界最高峰のエベレストが51年間で述べ2000人の大台を超えたことを考えると山の困難さやアプローチの問題はさておき一番と2番の違いがこの数字に表れているように思われる。

世界最高峰には04年も南北両面から登山隊が殺到し、春だけでも300人以上が登頂し、昨年春に記録した史上最多の261人を上回り、また記録を更新する賑わいをみせた。

8000m峰を中心とした特定の高峰への人気集中は相変わらずである。なりふり構わず8000m峰に立ちたいという登山者は後を絶たず、「高所遠足」的登山は隆盛を誇っている。その一方で04年はロシア隊がチョモランマ北壁とジャヌー（クンバカルナ）北壁にダイレクト・ルートを拓いた。これはロシア隊が世界の高難度の壁を狙う「ヒマラヤン・ビッグウォール・プロジェクト」の一環として登られたもので、98年のインド・ガンゴトリエリアのバギラティIII峰南壁中央ルート、02年のバフィン島のグレート・セイル峰などに次いで、ま

た新たな高難度バリエーション・ルートが登られた。その他、カラコルムではアミン・ブラック(5,850m)西壁、チャンギ・タワー(5,800m)西壁、ブラック・ザング(4,800m)南西壁などが初登攀され、インド・ガールワール・ヒマラヤのサーフ・ミナル(6,911m)では北西壁の初登攀が行われた。

また、12月にはシシヤパンマの冬季初登頂も成された。8000m峰の冬季初登頂は、88年のローツェ以来である。

2004年の日本のヒマラヤ登山隊は68隊（5隊は複数座を目指す）が52座を目指した（別表参照）。国別にみるとネパール28隊、中国27隊、パキスタン7隊、インド7隊、カザフスタン1隊となり、標高別では8000m峰18隊、7000m峰11隊、6000m峰35隊、5000m峰6隊であった。

前年に比べ8000m峰を目指した登山隊は減少したものの相変わらず世界最高峰とチョー・オユーの人気は高く、この2座だけで8000m峰登山隊の半数を占めている。

女性の活躍

04年の日本隊で特筆すべきは女性の活躍である。まず、5月10日に公募隊に参加した渡邊玉枝は65歳の高齢で8000m峰5座目となるローツェ(8,516m)に登頂し、健在ぶりを発揮。

次いで女性がたった一人で高所ポーター（シェルパ）を連れて世界最高峰に挑むなど、女性一人だけで組織された登山隊が3隊あった。春のチョモランマ(8,848m)では、練馬山の会の河野千鶴

4. 海外登山記録

2004年日本人海外登山隊

山名	標高	国別	登山隊/派遣母体名	ルート	季	隊長名	人数	結果	備考
サガルマータ	8,848	ネ	公葬隊	南東稜	春		1	○	5/23 渡辺大剛が登頂。
サガルマータ	8,848	ネ		南東稜	春	村口徳行	1	○	5/24 村口徳行が4度目の登頂
チョモランマ	8,848	中	アドベンチャー・ガイツ	北稜	春	近藤謙司	8	○	5/20 近藤隊長ら3名登頂。大田祥子下山中に死亡
チョモランマ	8,848	中	ブルーボビー	北稜	春	河野千鶴子	1	○	5/20 河野がHAP3名と登頂
チョモランマ	8,848	中		北稜	春	久末真紀子	1	○	5/20 久末がHAP3名と登頂
チョモランマ	8,848	中	ヒマラヤン・エクスペリエンス	北稜	春	R・ブライス	3	○	5/23 倉岡裕之、斉藤鐘吉、田村俊彦が登頂
K2	8,611	パ	日本勤労者山岳連盟	南東稜	夏	近藤和美	9	○	8/7 矢野利明、清野嘉樹、望月泰彦、川嶋高志が登頂
K2	8,611	パ	どさんご同人	南々東稜	夏	松本政英	5	○	8/16 松本隊長、乾飛鳥、竹迫智也が登頂
ローツェ	8,516	ネ	公葬隊	西面	春	H・トード		○	5/10 村口徳行、渡邊玉枝が登頂
チョー・オユー	8,201	中	栃木県南協議会	北西稜	春	大内一成	2	×	4/22 7,500mまで
チョー・オユー	8,201	中	岩手・千葉ファミリー	北西稜	秋	千葉富夫	5	×	9/20 6,600mまで
チョー・オユー	8,201	中	てっぺんクラブ	北西稜	秋	志小田清光	7	○	9/27 志小田隊長ら7名が登頂
マナスル	8,163	ネ	チーム右京	北東面	春	片山右京	2	×	7,600mまで
アンナプルナI峰	8,091	ネ	アミカル	北面	春	R・ドモエヴィツチ		○	5/29 竹内洋岳が隊長ら登頂
アンナプルナI峰	8,091	ネ	愛知県山岳連盟	北面	秋	佐藤理雄	4	×	10/10 雪崩で佐藤隊長と名塚秀二が遭難死
ガッシャーブルムI峰	8,068	パ		J C	夏		1	○	7/25 竹内洋岳がジャパニーズクルーロワールから登頂
シジャパンマ主峰	8,027	中	アミカル	南西壁	春	R・ドモエヴィツチ		×	竹内洋岳が国際隊の1員として登攀するも断念
シジャパンマ中央峰	8,008	中	アドベンチャー・ガイツ	北東稜	秋	大蔵喜福	8	○	9/27 大蔵隊長ら7名が登頂
ムスターグ・アタ	7,546	中	東京学芸大学	西稜	夏	村上芳男	2	×	8/11 宇野徹がC3上で行方不明
ムスターグ・アタ	7,546	中		西稜	夏	佐藤邦彦	1	×	
ムスターグ・アタ	7,546	中		西稜	秋	佐々木大輔	5	×	9/20 6,800mまで
クラーカンリI	7,538	中	日本大学	西稜	秋	中村進	4	×	
シジャパンマ西峰	7,250	中			春	竹内洋岳		×	国際隊の1員として登攀するも断念
ニンチンカンサ	7,206	中	江北山の会	南西稜	夏	細田一郎	1	○	8/6 HAPI名と登頂
ニンチンカンサ	7,206	中	八王子勤労者いわや山岳会	南西稜	夏	大神田伊曾美	1	○	8/6 登頂
ブモリ	7,161	ネ	土佐アルパインクラブ	南壁	春	入交忠誠	11	×	5/1 6,450mで断念
チョー・サブ	7,022	中	日本教員隊	北西面	夏	坂原忠清	2	◎	8/6 坂原隊長とHAPI1名が初登頂
スバンティーク	7,027	パ	同人バハール	北西支稜	夏	平出和也	3	○	7/9 平出隊長と谷ロケイが登頂
ライ・ピーク	6,200	パ	"		夏	"	2	○	7/23 平出隊長と谷ロケイが登頂
ハン・テングリ	7,010	カ	大阪カラングルン		夏	林孝治	3	×	
テンギ・ラギ・タウ	6,943	ネ	JAC	北稜	春	中原良材	6	×	5/6 6,250mで断念
ケダルナート	6,940	イ	福岡	北西稜	夏	成未洋介	5	×	6/15 ケダルドーム(6,831m)まで
ツクチェ・ピーク	6,920	ネ	大阪カラングルン	北稜	秋	林孝治	2	×	10/10 6,600mで断念
プーパラシユ	6,824	パ	豊橋山岳会		夏	中山秀樹	1	×	4,300mで雪崩に遭い断念
メラ・ピーク	6,654	ネ				猿山昌夫	6	--	
メラ・ピーク	6,654	ネ	山口県小野田労山		春	松尾和代	2	--	

山名	標高	国別	登山隊/派遣母体名	ルート	季	隊長名	人数	結果	備考
メア・ピーク	6,654	ネ	東京白樺会		春	宮田建夫	2	○	5/1 宮田・林が登頂
チブヒマール	6,650	ネ	JAC学生部	北東稜	秋	和田岳史	5	◎	9/18 和田隊長ら4名が初登頂
サリブン	6,328	ネ	"	南稜	秋	"		○	9/19 和田隊長ら5名が南稜新ルートから第2登
シプリン	6,543	イ	鱧鱒同人	西稜	秋	岡田康	2	×	9/16 6,100mに到達
メルーシヤークスフィン	6,450	イ	"		秋	馬目弘仁	3	×	9/28 6,200mに到達
無名峰	6,543	ネ	クラブ・イエティ		夏	石井清	2	◎	ダモザール・ヒマラヤの無名峰に初登頂
パチユムハム	6,529	中	JAC関西支部	北面	春	大西保	8	◎	9/3 大西隊長ら7名とHAP2名が初登頂
ギヤン・カン	6,080	中	"	東壁	春	"		◎	9/18 3名が初登頂, 9/20 3名登頂
チュルレー南東峰	6,429	ネ	杉並山の会	西稜	夏	石原裕一郎	1	○	
モンダ・カンリ	6,425	中	仙台山想会	西面	夏	高橋二義	7	×	6/17 6,100mで断念
カラコンロン	6,355	中	東海大学	南西稜	夏	小松由佳	10	◎	8/15 小松ら3名が初登頂, 16日にも2名登頂
サカルサール	6,272	パ			夏	佐藤邦彦	1	○	
ワトックV峰	6,190	パ	鉄腕モトム	南東稜	夏	大宮求	3	×	6,100mまで
チュンガチン	6,174	中	未踏峰中高年		秋	伊東亨	8	◎	9/10 宮本教男が初登頂
イムジャ・ツェ	6,160	ネ	東京白樺会		春	宮田建夫	2	○	4/21 宮田, 林 孝男が登頂
イムジャ・ツェ	6,160	ネ	松本姉妹都市隊		春		8	-	
イムジャ・ツェ	6,160	ネ	山梨アルパインクラブ		春		3	-	
ニレカ・ピーク	6,159	ネ	札幌勤労者山岳会		冬	佐藤信二	8	○	1/3 全員登頂
ニレカ・ピーク	6,159	ネ	労山・神田山の会		秋	菊池直行	2	○	
無名峰	6,130	ネ				加藤功一	1	○	
無名峰	6,084	ネ				"	1	○	
ブルクン・ヒマール	6,126	ネ	労山・東京都連盟	西稜	夏	石原裕一郎	37	○	8/16 8名が登頂
ストック・カンリ	6,100	イ	ワイルドナビゲーション		夏		2	-	
ストック・カンリ	6,100	イ	鱧鱒同人		夏		3	-	
ストック・カンリ	6,100	イ	労山・滋賀彷徨倶楽部		夏	秋田誠	2	○	
ピサン・ピーク	6,091	ネ	北海道山岳連盟	西面	冬	工藤寛	6	×	04年1/1 6,000mで断念
チュルレー最東峰	6,059	ネ	日本勤労者山岳連盟	南西面	冬	近藤和美	2	○	1/18 登頂
チュルレー最東峰	6,059	ネ		南西面	冬	奥田仁一	2	○	1/18 登頂
チュルレー最東峰	6,059	ネ		南西面	夏	石原裕一郎	1	○	
ルケルー	6,025	イ	中京山岳会		夏	沖允人	7	◎	8/18 増田秀穂とHAP2名が初登頂
チャギヤジマ	5,953	中	新潟県山岳協会	北面	夏	阿部信一	8	◎	7/31 阿部隊長ら3名が初登頂
ナヤカンガ	5,844	ネ	東京ブルーボビー/札幌中央労山		春		2	○	河野千鶴子と久未真紀子が登頂
シュエパオ・デイン	5,588	中		南面	夏		4		
シュエロンパオ	5,527	中	さがみ家族山の会	東面	夏	山岸和男	1	×	7/28 4,500mまで到達
レンロンリン	5,254	中	高知県山岳連盟		夏	福永信之	11	◎	8/1 山本誠治ら3名が初登頂
ダークニーヤン	5,025	中	岡山県勤労者山岳連盟	南面	夏	守屋益男	10	×	7/3 4,300mまで到達

(国別=ネ:ネパール, パ:パキスタン, イ:インド, カ:カザフスタン, 中:中国) ◎:初登頂

4. 海外登山記録

子(57歳)と札幌中央勤労者山岳会の久末眞紀子(55歳)がそれぞれ高所ポーター3名と共に5月20日、登頂に成功。

また、夏に八王子いわや山岳会の大神田伊曾美(60歳)は、中国のニンチンカンサ(7,206m)に入り、高所ポーター1名と共に登頂に成功している。何れも55歳以上の熟年女性たちの活躍である。

一方、若い女性では東海大学4年生の小松由佳(21歳)が隊長として学生6名、監督、コーチ、医師と共に中国・崑崙山脈西端のカラコンロン主峰(6,355m)に初登頂を果たした。

未踏峰

04年は日本隊による初登頂が11座記録された。

まず、中国では日本教員隊(坂原忠清隊長ら2名)がチョー・オユーの北方にあり、1989年に大阪市立大学隊が初登頂したスークァン・リ(7,308m)とパルン氷河を挟んで対峙しているチョー・サブ(Qow Xab, 7,022m)に挑み、8月6日に坂原隊長がチベット族高所ポーターと一緒に北西面から初登頂に成功した。

日本山岳会関西支部西チベット学術登山隊(大西保隊長ら9名)は西チベットのネパールとの国境付近にあるパチュムハム(6,529m)とギャゾ・カン岩峰(6,080m)に挑み、9月3日にパチュムハムに大西隊長ら7名と高所ポーター2名が初登頂。同じく18日には東壁からギャゾ・カンに3名が初登頂し、続いて20日にも3名が登頂した。

前述した東海大学西崑崙山脈登山隊(小松由佳隊長ら10名)は、新疆ウイグル自治区の崑崙山脈西端にあるカラコンロン山群の主峰(6,355m)に8月15日、小松隊長ら3名が初登頂し、翌16日にも3名が登頂した。同隊ではこの主峰を「ドルクン・ムスターグ(山の波)」と命名した。

新潟県山岳協会隊(阿部信一隊長ら8人)は、

青海省の未踏峰チャギャジマ主峰(5,953m)に挑み7年越しの念願を適え、7月31日に阿部隊長ら3名が初登頂に成功した。

未踏峰中高年登山隊(伊東亨隊長ら8名)は、チベットのチュンガチン(6,174m)に挑み、9月10日に宮本数男が初登頂に成功。

高知県山岳連盟隊(福永信之隊長ら8名)は、甘粛省・祁連山群のレンロンリン(冷龍嶺, 5,254m)に挑み、8月1日に山本誠治ら3名が初登頂に成功した。

ネパールでは、ダモダール・ヒマラヤで2つの初登頂がなされた。一つは日本山岳会学生部隊(和田岳史隊長ら5名)がチブヒマール(6,650m)とサリブン(6,328m)に挑み、9月18日に和田隊長ら4名が北東稜からチブヒマールに初登頂。翌19日には和田隊長ら5名が南稜新ルートからサリブンの第2登に成功。また夏にはクラブ・イエティ隊(石井清隊長ら2名)が、当初目標としたガウギリ(6,110m)とは別な無名峰(6,543m)に初登頂した。

インドでは中京山岳会隊(沖允人隊長ら7名)が、ラダックのパンゴン山脈にあるルケルー峰(6,025m)に向かい、8月18日に増田秀穂隊員と高所ポーター2名が初登頂に成功した。

遭難

残念ながら04年も3件(死亡4名)の遭難事故が起こり、68年から途切れる事無く続いているヒマラヤの遭難事故がまた更新され、37年間連続と言う不名誉な記録となった。

その1:チョモランマ(8,848m)の日本初エベレスト・コマーシャル・エクスペディションとして挑んだアドベンチャー・ガイズ隊(近藤謙司隊長ら8名)は、北稜ルートから5月20日に近藤隊長、高橋和夫(47)、大田祥子(63)の3名が登頂し

たが、下山途中、第2ステップ下部の約8,500m付近で大田隊員が転倒し、突然死した。

その2：ムスターグ・アタ(7,546m)に2人で挑んでいた隊で、8月11日にC3(約6,800m)上を宇野徹(47)が登っているところをフランス隊に確認された後、行方不明となった。

その3：秋のアンナプルナI峰(8,091m)に北面から挑んでいた愛知県山岳連盟隊(佐藤理雄隊長ら4名)は、10月10日、C2(6,600m)に移動中の4名全員が、6,200m～6,300m間において上部氷河のセラックの崩壊で発生した氷河雪崩に巻き込まれ、佐藤隊長(43)と名塚秀二(49)が遭難死亡した。

高峰登山調査用紙

昨年4月、(社)日本山岳協会、日本勤労者山岳連盟、(社)日本山岳会、日本ヒマラヤ協会の山岳4団体と全国的な集団の「日本ヒンズークシュ・カラコルム会議」は、登山者の不利益を解消し、記録の収集を積極的に行い整理し、これを次代に引き継ぐべく、登山隊・登山者から提供して頂く「高

峰登山調査用紙」の様式を統一し、且つ、その提出先をも統一することで合意致しました。

これまではそれぞれの団体が主催する研究会等の資料として、各登山隊に対してそれぞれの団体が独自の内容を網羅した「登山調査用紙」を送って登山概要の報告を提出していただいております。これは一つの登山隊に3～4団体から少しずつ内容の異なる「登山調査用紙」提出の依頼が届くことになり、結果的に提出が滞る弊害が見受けられました。また、登山隊にとっては複数の調査用紙に記載しなければならず、多大な不利益でもありました。これらの問題を解消すべく「高峰登山調査用紙」のフォームを統一し、提出窓口も日本山岳協会と日本勤労者山岳連盟に選定しました。

然しながら、未だ日も浅いこともあってなかなか登山隊・登山者に浸透しておりません。高峰登山に向かわれる方には、是非この趣旨をご理解の上、「高峰登山調査用紙」の提出のご協力とご支援を願いたい。

(文中敬称略)